

## 愛媛県立図書館利用案内

### ★本を借りるとき★

1. 「利用カード」を作しましょう。
  - ・愛媛県在住・在学の方は、だれでもカードを作れます。
  - ・本人の住所確認ができるもの（生徒手帳や保険証など）が必要です。
2. 本は、5冊まで3週間借りられます。
  - ・カウンターに、借りたい本とカードを出してください。
  - ※本は大切に扱い、友達に貸したり失くしたりしないようにしましょう。

### ★本を返すとき★

1. 返す本をカウンターに出してください。（カードはいりません。）
  - ・次の予約が入っていない場合は、延長ができます。
2. 図書館が閉まっているときは、玄関外の返却ポストに入れてください。
  - ※本が汚れていたり、大事なものはさんだりしていないか確認してください。
  - ※返却期日を守りましょう！！

### ★本を探すとき★

1. 図書館の検索用コンピュータで探すことができます。  
（書名や著者名で検索できます。）
2. インターネットや携帯電話から探すこともできます。
  - ※分からないときには、カウンターでたずねてください。

### ★本を予約するとき★

1. 予約カードに必要事項を記入して、カウンターに出しましょう。
2. パスワードを登録すると、インターネットや携帯電話から予約することもできます。
  - ※パスワードの登録は、カウンターで申請してください。



みきちゃん

#### 愛媛県立図書館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内

TEL:089-941-1441(代) FAX:089-941-1454

★開館時間★(火～金)午前9時40分～午後7時  
(土日・祝日)午前9時40分～午後6時  
(子ども読書室は午後5時まで)

★休館日★ 月曜、館内整理日(月末)、年末年始

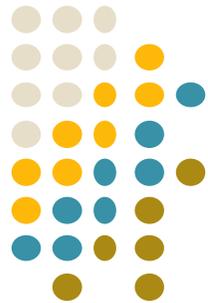
<https://www.ehimetosyokan.jp>

(携帯サイト <https://www.ehimetosyokan.jp/winj/mobileopac/top.do>  
スマートフォンサイト <https://www.ehimetosyokan.jp/winj/sp/top.do>)

## 愛媛県立図書館 YAコーナー

# YAつうしん

Vol. 49 2017.3



### ★新刊案内★

- ☆『5秒後に意外な結末』 桃戸 ハル／編著 学研プラス
- ☆『サバイバルファミリー』 矢口 史靖／著 集英社
- ☆『吹部ノート 2』 オザワ部長／著 ベストセラーズ
- ☆『吾輩も猫である』 赤川 次郎／著 新潮社
- ☆『作業療法士の一日』 WILLこども知育研究所／編著 保育社
- ☆『幻想温泉郷』 堀川 アサコ／[著] 講談社
- ☆『女も男も生きやすい国、スウェーデン』 三瓶 恵子／著 岩波書店
- ☆『すえずえ』 畠中 恵／著 新潮社
- ☆『ごみ処理場・リサイクルセンターで働く人たち』 漆原 次郎／著 ペリかん社
- ☆『きみのためにはだれも泣かない』 梨屋 アリエ／著 ポプラ社

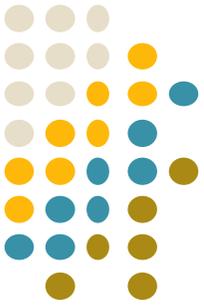


# 知る本 見る本



春はとにかく変化の季節です。楽しい新生活、心配な新学期も、本があなたを応援してくれます。

物語を楽しむだけが本じゃない！見て、知って、楽しんで知識を味方につけましょう！！



## 『ことわざ生活あっち篇』『ことわざ生活こっち篇』

あかいわしゅうご/文 ヨシタケ シンスケ/絵 草思社

ことわざは「ことばのわざ」。日本人の知恵の宝庫です。『りんごかもしれない』などで大人気のヨシタケシンスケの絵と、あかいわしゅうごによる親しみやすい文章で、ことわざや慣用語の魅力を再発見！

『あっち篇』は家族や友人、世間などにまつわることばで、人間関係のおもしろさ、『こっち篇』はものの見方や日々の楽しみ、自分を勇気づけることばで、毎日を新しく感じる方法や小さな勇気を育てるヒントが見つかります。

「あなたの言い分、ぼくの言い訳(会話)」「だけど、あしたは元気です(辛いこと、へこんだこと)」などのテーマ別に楽しく読めます。



## 『日本の給料&職業図鑑』 給料BANK /著 宝島社

この職業ってどんな仕事内容？お給料はどれくらい？

ポータルサイト「給料BANK」の書籍化。271種類の、人気の職業から「レア」な職業まで紹介。日本には700以上の職業があると言われる、新しい職業が増える一方で、今後20年で消える職業もあるのではないかと…。ロールプレイングゲーム風のイラストと架空のキャラ設定を楽しみつつ、労働白書や口コミなどから算出した平均給料の額や仕事内容、「なるには」を知ることができます。



## 『10代からの哲学図鑑』

マーカス・ウィークス/著、日暮 雅通/訳 三省堂

そもそも、「哲学」とは何なのでしょう。哲学は、「どんなことについても、きちんと考えるすべを学ぶ、すばらしい方法」—この本では、「目的は手段を正当化するか？」「現実って何？」「何事も当然のこととみなしてはいけない」「感覚を信じてはいけない」「どんな社会に住みたいと思う？」というような、とても難しい問題について、それぞれ見開き1ページで哲学的な考察を紹介。認識論、倫理学、形而上学、聞いたことはあるけれどよく知らない、根本的な学問について、考える方法を知る本。



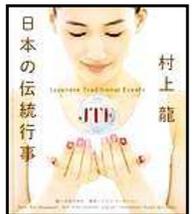
## 『日本の伝統行事 Japanese Traditional Events』

村上 龍/著、はまの ゆか/絵、ラルフ・マッカーシー/英訳、鈴木成一/デザイン

講談社

お正月から大晦日、行事のいわれやはじまりを作家・村上龍が執筆。あたたかみのあるイラストと、美しい写真の数々。(豪華な着物や、おいしそうなお菓子などは必見です！)

私たちの住む日本には、こんなに豊かで美しいものがあつたのだと気付かされます。本文のすべてに英訳がついているので、外国の方に日本を紹介するときなどにも役立つかも。



ご質問やご意見は、メールでも受け付けます。

アドレスは、[ya@libnet.ehimetosyokan.jp](mailto:ya@libnet.ehimetosyokan.jp)  
(件名に「YAメールレファレンス」と入れてください。)

★お名前、連絡先メールアドレスも忘れずに入力してください。